

女性部通信

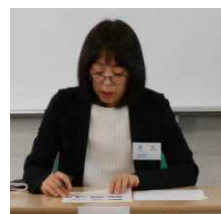
福井県教職員組合 女性部 NO.3

母と女性教職員の会

福井県集会

11月10日(土) 春江中学校
助言者 県議会議員 山本正雄さん
県議会議員 西畑知佐代さん
参加者 保護者14人 教職員42人 本部2人

提案① 坂井支部
春江小 養護教諭
北 淳子さん
「早寝早起き朝ごはん」推進のための保健室の取組から



提案② 勝山支部
勝山中部中 教諭
山中 みどりさん
将来につながる実践力を育む家庭科の授業を通して 一持続可能な社会の実現を目指してー



提案③ 大野支部
乾側小 事務職員
齊藤 恵子さん
ふるさとを知り、愛する心を育む交流活動～乾側っ子田活用より～



提案④ 大飯支部
和田小 教諭
川嶋 雪枝さん
「なりたい自分をめざして～自分の力でチャレンジ つながってチャレンジ」



4本の提案の後、グループディスカッションを行いました。助言者である2人の議員の方にも参加していただきました。どのグループも熱心な話し合いが見られました。特にお母さん方の積極的な発言が印象的でした。



県教委事務レベル折衝

11月21日(水) 教育センター
出席者 県教委学校振興課 2人
支部女性部長 5人 本部2人
各支部からいただいたコーヒータイムの様々な意見の中から5つに絞って、現場の実状を県教委に直接伝えました。予算や条例改正など



女性部の要望

- 1 育児・介護世代への異動についての配慮
- 2 働き方改革についての市町格差の解消
- 3 不妊治療について管理職への理解の促進
- 4 時短勤務利用の促進
- 5 配偶者の父母の忌引きについて別居の場合も7日を

を伴うことはすぐの改善は難しいとのことでしたが、今回の要望についてすこしでも改善できるよう努力したいとの回答をいただきました。

各支部からの活動報告

小浜支部 夏のクッキング体験

8月2日(木) 25人参加



御食国若狭おばま食文化館田中幸道先生から小浜の夏の名物「くずまんじゅう」と簡単な常備菜2品「自家製ピクルス」「ラタトゥイユ」の作り方を教えていただきました。

ラタトゥイユは、南フランスの伝統的な料理で、ズッキーニ・ナス・トマトを使った煮込み料理です。よく食べる味付けとはまた違う味で、参加者の皆さんも興味津々の様子でした。自家製ピクルスは、きゅうり・大根・人参・玉ねぎ・赤パプリカを使い、瓶に調味液と野菜を入れ、彩りがとてもきれいな一品になりました。ピクルスとくずまんじゅうはお土産として持って帰ることができました。約2時間の体験でした

が、参加者のみなさんには、和気藹々と料理したり試食をしたりと日頃とはまた違った料理体験をしていただくことができ、夏の楽しい時間になりました。

三方上中支部 簡単に作れるアロマ

8月21日(火) 50人参加



薬剤師の武田葉子先生を講師に招き、アロマスプレー作りとストレス対策についてのお話を伺いました。アロマスプレー作りでは、6種類の精油の効能について教えていただき、自分好みの精油を組み合わせました。自分だけのアロマで癒されることで、日々の生活の活力につなげていけそうです。ストレス対策についてのお話では、まず自分の性格タイプを知るために、自己診断チャートを行いました。自分はどのタイプの傾向が強いかわかり、タイプ別にどうしたらより生活しやすくなるのかをアドバイスしていただきました。

楽しく和気藹々と、自分に合ったストレスマネジメントについて学ぶことができました。

<参加者の感想>

- 自分に合ったアロマスプレーを作るために、自分自身について見つめ直すこともできました。香りの持つ不思議な力を活用して、日々の生活の癒やしにしていきたいです。
- 自己診断チャートでは、自分の意外なタイプが分かっておもしろかったです。それが個性と考えると、人間関係を築く上で大切にしていきたいです。



ちょこっとコーヒータイム

- コーヒータイムのご意見にお答えします
- ★こども園に預けてから出勤できるしくみがあると助かる
→部分休業があります。
 - ★小学生の子でも病弱だったりする場合、朝1時間遅れて出勤できるとよい
→とりあえず「子の看護休暇」を時間で取ってください。夫婦それぞれに取れます。
 - ★提出文書担当のような先生がほしい
→学校運営支援員の業務として可能です。

越前支部

ハーバリウム作り&ケーキタイム

8月6日(月) 池田小学校 53人参加

講師 原 亜紀先生(フラワーロゼ)



人気が出ているハーバリウム作りということで、たくさんの参加者が集まりました。まずは、中に入れる花材の色を自由に選びます。そして、花材を切って小さなパーツにし、長い針金をピンセット代わりに使って、瓶に詰めていきます。講師の先生から作り方を説明されて、やり方がだいたいわ

かると、みなさん思い思いに花材を詰めていきました。花材の大きさや色に合わせて、どこに配置しようか楽しみながら、作業していました。出来上がったハーバリウムを窓辺に置くと、何とも可愛らしく、みなさん大満足でした。

<参加者の感想>

- 普段使っていない感覚を使った活動で、あっという間だったが、充実した時間を過ごせた。
- 作っているときも楽しく、できあがったお花を見ても、とても穏やかな気持ちになった。
- 材料が一式そろっていたので、気軽に取り組めた。



福井支部

心と体を鍛える アロマ講座

8月6日(月) 42人参加

アロマトリートメントサロン「アロマルームドラジェ」を主宰され、ハーブセラピストとして活躍されている山腰真喜先生を講師にお迎えしました。香りが心と体に作用し、美容や健康に役立つアロマセラピーについてのお話を伺った後、7種類のアロマから好きなものを選んでのブレンドオイル作りを楽しみました。オイルを使ってのセルフマッサージやハーブティーの試飲、万能スプレー作りなど、良い香りに包まれた有意義な時間を過ごすことができ、心も体もリフレッシュすることができました。

<参加者の感想>

- 普段、お店で目にしていても、なかなか自分からは手を出せないことが体験できました。短い時間にアロマオイルやスプレーを作ったり、マッサージやお茶を体験できて、贅沢な時間を過ごすことができました。
- アロマに興味がありましたが、本格的に教えていただく機会が無かったので、本当に勉強になりました。皮膚や肺からも成分が入ることに驚きました。
- オイルを使ってのハンドマッサージは、とても気持ちよかったです。冬のカサカサの時期にも、是非、保湿をかねて使ってみたいと思いました。ブレンドするといろいろな効果がプラスされることを知りました。



敦賀支部

子どもの幸せを考えるつどい

7月26日(木) 183人参加



今年度は、講師として吉田高志先生をお迎えし、「親学～子どもを伸ばしたい！その時、親ができること～」というテーマで講演会を開催しました。日本での昔からの教育の歴史から、親子の関係に関する話、いじめについての話など、豊富な経験をもとにご講演をいただきました。

身近な話題ばかりで、参加者の方々からも「子どもとの接し方を改めて考えさせられた」「とても興味深く、参考にしていきたい」という声が多数挙がっていました。スキンシップの大切さにつ

いても、お話をされており、家に帰ってから子どもを抱きしめてあげたいという保護者の方も多くいらっしゃいました。また、脳トレのコーナーもあり、大人も子どもも熱心に参加し楽しむことができました。教員にとっても、子どもへの接し方や普段の指導に生かせる話があり、今後に大いに役立てることができそうです。

「親が変われば子どもが変わる」「教師が変われば子どもが変わる」という先生がおっしゃっていた言葉を忘れずに、これからも子どもたちの成長を見守ってまいります。



ちょこっとコーヒータイム

コーヒータイムでのご意見を紹介します。

- ★異動希望なしとしたにもかかわらず異動があるときは、早めに可能性があることを知らせてほしい。
- ★給食や会計の仕事は女性の担当と決めつけることに疑問を感じる。
- ★小学校高学年の仕事が他の学年に比べて多すぎる。
- ★「ノー残業デー」には早く帰らなければいけないのでさらに忙しく感じる。
- ★中学校の部活動顧問の負担が大きい。
- ★エアコンを特別教室にもつけてほしい。
- ★育休が3年取れることは恵まれた環境であることが分かっていない人がいる。3年休めることに感謝の気持ちをもってほしい。
- ★管理職を除く50代の異校種異動はやめてほしい。
- ★土日の地域行事への参加を精選してほしい。そのための学校での指導も負担。
- ★半日の出張で福井まで行くのは大変。

日教組へ要望事項を提出しました

—全国母女要請行動にむけて—

全国母女は集会を行うだけでなく、毎年省庁へ要請行動を行っています。今年度は、福井県より運営委員が出ているので、教職員と保護者の立場それぞれから国にお願いしたい要望案を出しました。

【教職員】

- 免許更新制度を廃止してほしい
- 放課後の子どもの居場所について、施設や人的配置について支援してほしい
- 「候補者男女均等法」が実効性あるものとなるよう女性議員を増やす施策を講じてほしい

【保護者】

- 成人向け雑誌をコンビニから撤去するよう、企業に申し入れをしてほしい

